

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：大場勝雄 幹事：桜井健太郎

情報委員長：米沢修一

1982・1月21日 第208号

“アメリカの主婦とボランティア”

土橋登志子氏



アメリカの家庭、アメリカのボランティア活動を見る為渡米し、五つの家庭を回りました。五つ位の家庭を見ただけでアメリカの家庭を語る事は正確性を欠くおそれがありますが、その見分の一端を紹介致します。

最初の家庭は、御主人がワシントン大学の教授でしたが、この教授は奥さんと顔を会わせている時は「愛している」の連発でした。しかも奥さんのみならず私の下着まで教授自ら洗濯するという献身振りでした。アメリカでは男が離婚すれば丸裸にされ、一方女は離婚すれば左ウチワで暮らせるといわれて居ります。この御主人に日本の亭主関白を理解させることは不可能でした。

つぎの家庭は広大な邸宅を有するすばらしい家庭でした。しかし、この家で最初のどがかわいたので水を希望したところ、以後飲料水は水しか飲ませて貰えませんでした。牛乳やコーラは口に合わないものと勝手に判断されたのです。日本料理を作って味わって貰おうと思いましたが包丁とまな板がないのです。この家庭では野菜も魚肉もすべてはさみで切り、野菜は生のまま、魚肉類はオープンで加工して夫々食卓に出されました。日本の主婦のように心をこめた料理をつくり家族そろって賞味するという生活がありません。

つぎの家庭は子供三人をかかえた独身女医の家庭でした。女医といっても私の想像を超える生活をしておりました。まず家の中は足の踏み場もない位散らかっており、客が来るから片付けるという感覚は全くなく、普段のままで私を迎えてくれました。又三人の子供がおり、前夫は生存しておりましたが、女医さん本人のボーイフレンドが二名相前後して訪問し、鉢合せしても夫々一向に騒がず悠々としておりました。我が国の性風俗からして理解出来ないところでした。

アメリカの家庭の悪いところばかり書きましたが、ワシントンからニューヨークに行って驚いたことは、地から人が湧き出て来るのではないかと思う程、人々がたくさんおり、活気があり、矢張り世界の経済の中心だとする実感がありました。ニューヨークは一度訪問するに足る都市だと思いました。

—金沢北RC例会講話から— (文責 中村三次)

戌 年 雑 感

磯 貝 貞 吉



昨年暮れ近く還暦の祝をしてやろうと云う話が持ち上った。前から親しい仲間が秘かに相談した結果らしい。私は今年6月1日を以て満60才になるのであるが、いざ祝をしてやるとなると些か抵抗を感じる。勿論然様なことは無用と断った。断り方が少し強かった所為か皆驚いていた。年をとることに對する潜在的な不安が強い言葉になって皆を驚かせたのかも知れない。

50を少し過ぎた頃からドライバーの距離が10ヤード程短くなった。年の所為かと半ば諦めていたがその後又距離が伸び出し以前より飛ぶようになってハンディも二つ上って15になった。この頃はこのハンディでパー・プレイが出来るようになったので前に距離が落ちたのは年の所為ではないと思っている。

何事にもピークと云うものがある。人生のピークは何才なのか、個人差のあることは勿論であるが、私は出来るだけこのピークを人生の後の方へ持って行きたいと考えている。60才が私の人生におけるピークでないことを実証するためにも今年にはハンディを1つ上げて14にしたいと思っている。ゴルフ倶楽部の規則が満60才を以てシニヤと定めているが満70才にすべきではないかと思っている。御賛同の向きも少くないのではなかろうか。

鈴 木 透



60才と言われ、還暦祝いをとひやかされても余り実感として感じて来ないのは、私の愚鈍の故もあるが、今のところ健康に恵まれているのと、学友の大半が定年を迎えて第一線を退く者が多い中で、現職として寧日なき日々を送っているせいでもあると思う。私は日頃から年令とは暦年令では数えられない——肉体年令と気力年令の総合されたものだと考えている。然し自分の両親ともこの年令まで生きられなかったことを思う時には、複雑な感慨を禁ずることができない。小学校から大学、兵役、引揚げを経て、それからの我無沙羅の教育生活、今やっともう一度自分を見直して行くべき時だとい

うことを思いなおしている私である。大学の運営面で私に課せられた責務は更に重い。趣味の領域とは言え、私の音楽活動に対する夢もある。馬力だけのゴルフと言われても、一ラウンドでも多く廻りたい。

ロータリーは、自分の足りなさを自覚させてくれる場であり、思えば色んなつながりを通じて人間としての交わりを広め深めて行く楽しみは、今から始まるのだと思いたいし、またそうあらなければならないと思っている。

宜しく御指導をお願い申し上げます。

次年度委員会編成 〈1982.7～1983.6〉

委員会	委員長	副委員長	委員
社会奉仕	出島	二木	木島 庄田 増江
国際奉仕	飯野	小間井	石丸 岡田 高田
職業奉仕	池島	塩村	中西 山上 小林
例会	長谷川	木下	下村 由井 浅野
拡大	釣見	浅田	小杉(善) 米沢(繁)
企画	館山	本岡	磯貝 宗田 魚住
情報	中村(三)	笠間(正)	米沢(修) 合田 落合
親睦	小杉(守)	高畠	篠原 市川 鈴木
修練	沢田	若野	吉山 土原 柴田
友好	橋場	俵	吉岡 笠間(恒)
地域開発	越野	清水	春田 本江 大場 中村(省)

理事会報告

1月14日(木) 13:30～
出席者 19名 石亭にて

■5RC合同役員会報告

1. 街頭交通推進隊員感謝の夕べ精算の件
2. 金沢5RC新年合同例会精算の件
3. 善行生徒の激励に関する件
4. その他

■次年度委員会構成決定の件

■半期報告書の件

■その他

- 情報：ポラロイドカメラ購入の件
- 分区代理より：IGF(4月11日、松任にて)における金沢北RCの協力をお願い。
- 大場会長より：当クラブの芸術家(大場・長谷川魚住)の3人の方の個展を開き(例会日に別室にて)会員の皆さんに買って頂き、一部を10周年事業等にあててはどうか。又、出来れば、この計画を長く続けていきたい。

今週の花

吉山宥海
(1月14日)

すかし百合
千両
ろう梅



